

2702B ワーク・講義併用

学生の意欲を高めるアカデミック・アドバイジングの手法

小林 忠資(岡山理科大学 獣医学部獣医保健看護学科 准教授)

講師略歴

名古屋大学高等教育研究センター研究員、愛媛大学教育・学生支援機構特任助教、岡山理科大学獣医学部講師を経て、2026年より現職。2019・2023年度入学者の学科チューターとして活動。日本アカデミック・アドバイジング協会会員。

プログラム概要

アカデミック・アドバイジングとは、学生の目標設定とその達成に向けて学生のニーズに沿った支援を行っていくものです。たとえば、履修に関する情報提供と相談、学習状況の確認と助言、進路の相談などです。アカデミック・アドバイジングは新しい言葉ではありますが、内容的にみるとこれまで教職員が面談等によって日常的に行ってきた活動ともいえます。アカデミック・アドバイジングの手法を学ぶことを通して、教職員個々が経験をもとに構築してきた自分なりの面談の方法を捉えなおす機会になればと考えます。

本プログラムでは、学生の意欲を高めるアカデミック・アドバイジングの手法について学習します。まず、アカデミック・アドバイジングの特徴と基本的な手法を説明します。その後、事例をグループで検討し、手法への理解を深めます。

準備物・事前課題

なし

主な受講対象者

1. アカデミック・アドバイジングに関心のある教職員
2. 学生面談を行っている教職員

到達目標

1. アカデミック・アドバイジングにおいて学生の意欲を高める必要性を説明できる。
2. 学生の意欲を高めるアカデミック・アドバイジングの手法を3つ以上挙げることができる。
3. 面談において学生の状況に応じて、適切な手法を選択することができる。